

## 1.6 皮膚科後期臨床研修カリキュラム、専門医養成コース

### 1. 皮膚科の概要

#### 1. スタッフ

部長 1名 鈴木 加余子

医員 2名

後期研修医 1名

日本皮膚科学会専門医 2名

日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会評議員 1名

#### 2. 設備・検査・手術などの実績（平成25年度）

外来患者数（1日平均）：125名

入院患者数（1日平均）：13名

### 2. 診療科の特徴

一般的な皮膚科診療の全般を行っている。特に接触皮膚炎や歯科金属アレルギーを疑った場合には、積極的にパッチテストを施行し、その原因を明らかにして根治をめざしている。当科のみで診断及び治療が困難な皮膚疾患症例の場合には、大学と連携し、迅速に診断治療を行っている。また、他科と積極的に連携し、さまざまな疾患に関連した皮膚病変、特に膠原病による皮膚病変・糖尿病患者における糖尿病性足病変（壊疽を含む）・透析患者における皮膚掻痒症なども治療している。Qスイッチルビーレーザーと炭酸ガスレーザーによって老人性色素斑、脂漏性角化症、色素性母斑の治療も可能である。

### 3. 一般目標

#### 3年目

- 1) 皮膚科医として最低必要な検査及び診断能力を身につける。
- 2) 皮膚科専門医習得を目指して必要な知識の習得を目指す
- 3) 救急医療に参加し、医師として最低限必要な知識と技術の習得と確率を目指す

#### 4年目

- 1) 局所麻酔下での皮膚腫瘍切除術を施行できるようになる。

- 2) 自己免疫性水疱症などの重症疾患の診療に必要な経験と知識を充足する。
- 3) 皮膚病理学を学び、自己にてある程度の診断ができるようにする。

#### 5年目

- 1) 皮膚科専門医習得にむけて必要な知識の拡充を目指す。
- 2) 皮膚科医として、他科から信頼される臨床能力を身につける。

### 4. 経験目標

皮膚疾患は多種多様であり、限られた短期間の研修で皮膚科学を全て網羅することには困難である。従って皮膚科のローテート研修に関しては、個々の疾患を学習することよりも基礎的な皮膚科学的診断法及び適切な対処方法を重点に研修することを目的として行うこととする。

最も重視されるべきは、発疹学をよりよく理解して記載でき、行うべき検査方法及び他科の基礎疾患との関連性を考えることである。

#### a. 一般的診療技術および知識

- 1) 問診の手順、病歴の記載
  - ※ ① 症状の出現時期、変化が正確に把握し記載できる。
  - ※ ② 熱傷患者においては受傷面積を正確に算出できる
- 2) 発疹学の理解
  - ※ 記載皮膚科学上必要な用語を理解し、発疹が正確に記載できる。

#### b. 各種検査法

- 1) 病理組織学的検査
  - ※ ① 生検時の組織採取法の理解。
  - ※ ② 簡単な組織採取（パンチバイオプシー）が実施できること。
- 2) 一般的皮膚科検査
  - ※ ① 皮膚描記法が実施でき、且つ判定できること。
  - ※ ② 硝子圧抵法が実施でき、紅斑と紫斑の鑑別ができること。
  - ③ 知覚検査が実施できること。
- 3) 微生物学的検査
  - ① 真菌検査
    - ※ i) 皮膚角質の検体を採取し、標本作成ができること。

ii) 鏡検にて真菌の有無が判断できること。

② 細菌検査

膿汁、分泌物等検体の採取が雑菌汚染を生ずることなく行えること。

c. 各種治療法

1) 全身療法

※ ① 薬剤の知識：皮膚科で多用する薬剤、特に抗生物質、副腎皮質ステロイド、抗ヒスタミン剤、抗アレルギー剤、ビタミン剤等の作用、副作用、投与法について理解する。

※ ② 熱傷における補液の適応を判断でき、補液量の公式を理解する。

2) 局所療法

① 外用剤

※ i) 皮膚外用剤の基剤および配合剤の種類と適応の理解。

ii) 外用剤の使用法の種類を理解する。

※ iii) 副腎皮質ステロイド外用剤の種類、使い分けの基本の理解。

※ iv) 副腎皮質ステロイド外用剤使用による副作用の防止法の理解。

② 光線療法

i) 紫外線に関する基礎知識の把握。

ii) P U V A, U V B療法 の適応の理解。

iii) 光感受性薬剤の使用法の理解。

③ 冷凍凝固療法

i) 適応疾患の理解。

ii) 実際に冷凍凝固法が安全に行える。

④ 外科的治療

i) 局所麻酔が安全に行える。

ii) 創部消毒とガーゼ交換が行える。

iii) 簡単な切開・排膿が行える。

iv) 皮膚縫合が行える。

v) 軽度の熱傷、外傷の処置が行える。

⑤ レーザー治療

適応疾患の理解。

d. 対象疾患

1) 湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹

- ※ ① 急性, 慢性湿疹
- ※ ② アトピー性皮膚炎
- ※ ③ 脂漏性湿疹
- ※ ④ 皮脂欠乏性皮膚炎
- ※ ⑤ 接触皮膚炎
- ※ ⑥ 貨幣状湿疹
- ⑦ 蕁疹
- ※ ⑧ 蕁麻疹
- 2) 自己免疫性水疱症
  - ① 天疱瘡群
  - ② 類天疱瘡
- 3) 細菌感染症
  - ※ ① せつ
  - ② 蜂巣炎
- 4) ウイルス感染症
  - ※ ① 帯状疱疹
  - ※ ② 単純疱疹
  - ※ ③ 麻疹
  - ※ ④ 風疹
  - ※ ⑤ 水痘
- 5) 真菌感染症
  - ※ ① 白癬菌感染症
  - ※ ② カンジダ感染症
- 6) 皮膚腫瘍
  - ① 皮膚良性腫瘍
  - ② 皮膚悪性腫瘍
- 7) その他
  - ① 糖尿病性足病変
  - ② 熱傷